

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス幸教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者が交流できる環境を整えており、児童発達支援から放課後等デイサービスに継続して通所が可能	就学を控えた利用者に放課後等デイサービスの利用者との関わりを持てるように一緒に取り組める活動の提供をしている。スムーズに小学校就学ができるように、小学生との関われる場を提供している。	・土曜日など、放課後等デイサービスでのイベントなどにも一緒に参加できるようにしている。 ・随時、保護者の方からの相談を受け付けられる体制を整えており、ニーズに沿った支援を提供できるよう努めている。
2	療育プログラムが充実している。 活動プログラムが固定化されないように工夫しながら1コマ30分ほどの療育トレーニングを提供している。	・5領域に沿った年間支援カリキュラム使い対人関係や身辺自立や地域生活に活用できるなど具体的なテーマを週ごとに取り決めてトレーニングを実施しています。各職員の得意分野を活かし楽しみながら学んでいけるよう週間テーマを設定し、毎週活動の異なる療育トレーニングを提供し支援をおこなっています。	・苦手なことや嫌いなことに興味を持ってもらえたり、“できた”という成功体験を積んでもらえるよう日頃から職員間で活動内容を検討している。
3	保育士・幼稚園教諭・高校教諭・中学校教諭・小学校教諭など様々な資格を有している職員が在籍している。	・教室内に各々の職員のプロフィールを掲示し、実際に支援に携わる職員を保護者に周知している。また、関係機関へ事業所の体制面について周知をおこなっている。	それぞれの職員がより、適切な支援を提供できるよう日々、研修などを通して自己研鑽に努める場を設けている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムを実施について	家族支援プログラムやペアレントトレーニング等に関する情報共有がおこなえていないこと。要因として、業務量の多さと保護者向けの共有資料が限られていることが要因と考えられます。	保護者のサポートとなるような情報共有を増やすため、日々子育てや発達障害に対するの質問や疑問を保護者全体に共有し、情報共有の機会を増やしていきます。
2	保護者会の開催など、保護者同士の交流の場を設けられていない。	子どもたちの来所時間と重なり保護者会の為に時間を設けることができない状態にあることが要因と考えられます。	午前中など子どもたちの来所と重ならない時間に設定または、zoomでの開催など保護者の皆さまが参加しやすい方法を検討する。
3	地域に開かれた事業所運営としては十分とは言えない。	教室の活動に地域住民を招くなどの地域に向けた活動は安全面を配慮しおこなえていない状況がある。	予約制などにし地域の一定の方の来所にすることで安全面の配慮をしながら他事業所と情報交換ができる場に積極的に参加し保育園、幼稚園、児童発達支援事業所等に周知活動をおこなっていく。